

溶剤可溶型導電性高分子 ポリアニリン

製品

ポリアニリン系導電性高分子材料

用途

電磁波シールド、メッキ下地剤、導電性インクなど

特徴

溶剤可溶性、高導電性、耐熱性

背景

BACKGROUND

日本材料技研では、出光興産株式会社と協力して、出光興産が開発した溶剤可溶性導電性高分子ポリアニリンについて用途展開*を行っております。

*当社ではコンデンサ以外の用途展開に取り組んでおります。

製品概要PRODUCT
OVERVIEW

出光興産が開発したポリアニリンは溶剤に溶解可能な導電性高分子材料です。

溶剤に溶解させることができるため、塗布などにより均質な導電膜を形成されることが可能です。配合技術により、導電性の調整および、耐熱性の付与させることができます。これらの特徴を生かし、電磁波遮蔽材料、電池電極材料、導電性インク、帯電防止材料、メッキ下地材料、放熱材料など幅広い展開が期待されています。

溶剤に溶解させた
ポリアニリン溶液

成膜したポリアニリン溶液

特性

形態	粉末 (濃緑色)
導電性	0.01 ~ 300 S/cm
熱伝導性 (電導度 100 S/cmの場合)	膜面内方向 1.0 W/(m・K) 膜厚方向 0.2 W/(m・K)

製品の特徴PRODUCT
FEATURE

有機溶剤可溶性

導電性 制御
0.01 ~ 300 S/cm

塗膜・加工性

お問い合わせ先